

図書館かわら版

秋
の
巻

日が暮れる時間がずいぶん早くなりました。

スポーツにも、勉強にもぴったりの時期です。

読書もどうぞ楽しんでください。



読書週間

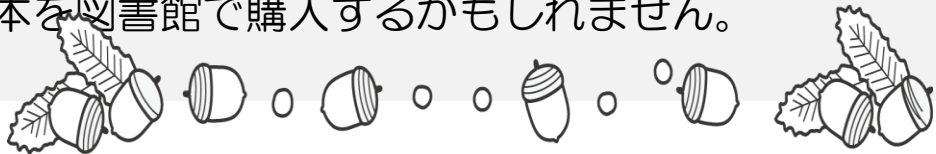


11月18日(月) ~ 12月13日(金)

秋の読書週間です。みなさんがもっと本を楽しめるように、図書館ではいろいろな企画を用意しています。どうぞ参加してくださいね。

1. 読書アンケート

どんな本に興味があるか、どんな本を図書館に入れてほしいかなど、みなさんの意見を書いてもらいます。購入希望も受付ます。皆さんが希望する本を図書館で購入するかもしれません。



2. しおりプレゼント

大好評だった昨年度に続き、今年もしおりのプレゼントがあります。期間中に本を借りた人にはもれなく、名言の書かれたしおりをプレゼント。期間中は何度でももらえます。



3. 読書マラソン

読書週間中に本を20ページ読むと山手線を1駅進める読書マラソンを企画しています。山手線1周、580ページを達成した人には特別なプレゼントがあります。ぜひ、挑戦してください。各学年のおすすめ本リストもあります。

新着本から

読書マラソン完走しよう！

『「空気」を読んでも従わない 生き苦しさからラクになる』
鴻上尚史著 岩波ジュニア新書

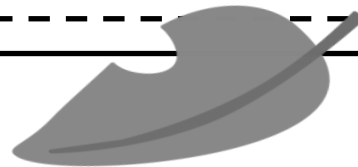
周りの目が気になる。ラインやSNSが気になる。中学生のみなさんも日々、自分と周りの関係について気を配りながら過ごしていることでしょう。この本では「世間」「社会」などの知っているようで、分かりにくい言葉が易しく説明されています。感じ方や考えも違う人たちが、生きやすくなるヒントと勇気をたくさんくれる本です。

『失われた世界への時間旅行』
堤隆 作 新泉社



13歳の考古学好きの男の子、加藤隼人が旧石器時代にタイムスリップ。4万前、1万年前、5000年前のそれぞれの時代の生活を体験しながら現代の考古学に触れていくお話です。軽く、読みやすいお話ですが、大学の考古学の先生が書かれているので、最新の研究が味わえます。考古学に興味のある人、ぜひ読んでみてください。

『ローズさん』
澤井美穂 作 フレーベル館



ピアノと母から逃れるために祖母の暮らす町にやってきた惟（ゆい）。この町に伝わる「ローズさんの呪い」について調べることになります。町をさ迷う外国人女性の幽霊、ローズさんの話を追いかけていくうちに、思いもよらない物語が次々に見えてきます。

『瓶に入れた手紙』
ヴァレリー・ゼナッティ 作 文研出版



イスラエルに住む17歳の少女、タルが瓶に入れた手紙をパレスチナの青年、ナイームが拾い、二人のメールでの交流が始まります。ニュースや新聞で耳にするパレスチナ、イスラエル、ガザ地区。遠い国のお話ですが、今実際に起こっていることを知るきっかけになる本です。知ること、興味を持つことの大切さが分かります。